

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.21

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	新庁舎建設事業	担当部署	特定事業推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市新庁舎建設基本計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="29"/> 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると				
(小項目)		危機管理・防災			終期	未定 <input type="text" value=""/>
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進				
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備				
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無						
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレス鳴門まちづくり基金活用予算要求						

◎事業概要(PLAN)

目的	「市民の安全安心をまもり、絆をはぐむ鳴門らしい庁舎」を実現した新庁舎の建設		事業 内容 (R1)	①基本設計業務 ②基本設計CM業務 ③オフィス環境整備業務 ④各種調査業務(地質調査・現況測量・境界確定測量・アスベスト含有調査) ⑤市民会館解体設計業務				
実施方針	基本計画に記載した五つの基本方針のもと、新庁舎建設を推進する。 ①誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスを提供する庁舎 ②防災拠点にふさわしい、安全安心な庁舎 ③市民がつどい、親しまれる庁舎 ④経済的で将来の変化に対応できる庁舎 ⑤環境にやさしく、周辺環境と調和した庁舎			当初からの 変更点	9月補正予算にて、市民会館解体設計業務を計上し実施。基本設計業務がプロポーザルの不調や各種調整に時間を要したため、基本設計CM業務とともに、契約期間を令和2年5月まで延長した。			
指標名			平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1							
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
	新庁舎の建設		基本計画策定	基本設計策定	実施設計着手	実施設計策定 施工着手		

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①庁内検討	①基本計画の策定	①基本設計の策定 ②各種調査業務の実施 ③DB事業者の選定	①実施設計着手	①実施設計の策定 ②施工着手

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	36,500	103,800	140,300	10,156	未定

事務事業名	新庁舎建設事業
-------	---------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	新庁舎建設に係る基本設計の策定に向け、庁内・庁外の関係機関等から意見の聴取、協議を行い、施設の配置や構造、平面レイアウトや地震・津波浸水対策、機械・電気設備の検討、及びそれらの検討結果に基づく事業費の積算作業などに取り組んだが、更なる延床面積の削減や事業費の積算調整作業などを慎重に進めた結果、当初の想定より時間を要したため、基本設計CM業務とともに、契約期間を令和2年5月まで延長した。 そのほか、地質調査、測量、アスベスト含有調査といった各種調査業務や、オフィス環境整備業務、市民会館等の解体設計業務を行った。
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1						
	2						
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	新庁舎の建設	基本計画策定	各種調査業務実施 市民会館等の解体設計策定	基本設計策定 実施設計着手	実施設計策定 施工着手		
	目標達成率(実績/目標)			-			%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
			計	15,245,560	18,225,900	23,311,371
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	14,700,000	8,900,000	0	23,600,000
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	14,630,560	1,825,000	13,315,495	95,835,000	110,975,495
	一般財源	615,000	1,700,900	1,095,876	0	2,796,776

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	新庁舎の建設		成果指標に対する所見	基本設計業務がプロポーザルの不調や各種調整に時間を要したため、基本設計の策定を令和2年5月まで延長したが、延床面積の削減や事業費の積算調整など、基本設計の精度向上に努めた。		
	目標	基本設計策定	0				
	実績	各種調査業務実施 市民会館等の解体設計策定	0				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新庁舎建設にあたっての有利な地方債制度である「市町村役場機能緊急保全事業」の活用には、令和2年度中の実施設計着手が絶対条件となっている。通常でも4~6か月程度をかけて行うDB事業者の選定であるが、新型コロナによる影響で、ゼネコン・設計事務所の業務にも大きな影響が出ている中、年度内の契約締結、実施設計着手に向け、事業者の意見や新型コロナの動向にも注視しながらの慎重な事業者選定が求められている。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	基本設計策定 実施設計着手
	令和3年度	実施設計策定 施工着手